

第 63 期

平成 27 年度 事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から
平成 28 年 3 月 31 日まで

福島県郡山市駅前一丁目 8 番 16 号
公益財団法人 湯 浅 報 恩 会

第 63 期（平成 27 年度）事業報告書

1. 事業概況

わが国の景気は、原油安や中国等の新興国の景気減速の影響により踊り場的な状況のまま年度末を迎え、財政出動と金融政策を中心とした「アベノミクス」の効果に陰りが見えつつある。日銀は「切り札」のマイナス金利の導入に踏み切ったが、その効果には疑問の声も多い。

28 年度に入って間もない 4 月 14 日、熊本地方を中心とする地域で巨大地震が発生し、甚大な被害をもたらした。その一方で、日本を代表する企業の業績不振や不祥事が続発しており、薄日の差しつつあった国勢は再び大きく後退することが懸念されている。

福島県では、人口が平成 22 年比で約 11 万人、5.7%減少し、今なお約 10 万人が県内外で避難生活を送っている。原発事故による避難指示は解除の方向にあるが、なお高線量の地域も残り住民の帰還は進んでいない。汚染土等の中間貯蔵施設の建設計画は示されているものの最終処分場が決まらず、福島第一原子力発電所では高濃度汚染水のタンクが今も増え続けている。廃炉への道のりは見通せず、復興ははるかに遠いと言わざるを得ない。

国際的には、イスラム国（ISIL）の台頭に伴う中東情勢の不安定化、世界中へのテロの拡大、シリアから EU への難民流入、近くは北朝鮮によるミサイル発射と核実験、中国の南シナ海での人工島建設等、国際規模での紛争を誘発しかねない状況が頻発し、緊張が高まっている。

医療界では、地域包括ケアシステムの構築へ向けて各都道府県で地域医療構想調整会議が開催され、従来の地域医療のあり方を変えていくことの是非をめぐる議論が行われ、また、年度後半からは、28 年 4 月実施の診療報酬改定への対応に迫られる 1 年となった。各医療機関は、一昨年からの消費税引き上げによるコスト増加、施設基準や DPC への対応にともなう在院日数短縮による入院延患者数の減少、部分的には大幅に引き下げられた介護報酬改定の影響などもあり、厳しい経営を強いられた。それでも当法人では、全職員の努力により、予算額の達成までは至らなかったものの、前年度比 3%弱の増収と一定水準の利益を確保することができた。

2. 部門別事業報告

1) 法人本部

経済情勢の変化等により一時休止中となっている第二地区市街地再開発事業については、コンサル会社を通じて住宅ディベロッパーからの接触はあったものの、具体的な進展には至らなかった。

人事面では、採用時の競争力確保の観点から、27年度より賞与の一部を月額給与へ振り替える支給方法の変更を実施している。医師の年俸制についても、従来以上に病院業績と診療科実績等を反映できる内容への変更を検討し、27年度から実施している。また、医師確保の観点から、医師の定年延長を27年度末から実施した。

設備投資に関しては、平成27年5月に着工した香久山病院の新病棟建設及び既存建物改修工事と、27年9月より総合病院で稼働した電子カルテ並びに部門システムの導入に向けて、資金面の対応を行ってきた。

財務・経理面では、公益法人としての厳格かつ透明性を確保した法定監査に対応し、諸規程の改定、法改正に伴う退職給付会計の経理処理への対応を行った。

2) 寿泉堂総合病院

本年度は、2025年をゴールとする医療制度改革の核となる医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実といった方向性のもと、今後示される地域医療ビジョン、次の診療報酬改定等を想定する中で、当院のあるべき医療提供体制について検証し、また、懸案であった電子カルテシステムへの移行を成した年であった。

収支面では、診療単価が入院・外来ともに上昇したことを受けて、医業収入は前年比189百万円・2.8%の増収となったが、電子カルテ導入に伴う消費税負担増の影響もあり、償却前利益は、前年度を63百万円下回る517百万円に止まった。

入院患者数に注目すると、新入院患者数は前年とほぼ同数であったが、平均在院日数が0.1日短縮したことにより（11.2日→11.1日）総入院患者数は547名・0.7%の減少となった。8月末の脳卒中科医師退職の影響も見られた

ところではあるが、在院日数の短縮をカバーする新入院患者確保努力が必要とされる。

外来患者数については、求められている医療機関の機能分化に対応すべく、逆紹介の推進や予約制の導入に努めたこともあって、4,144 名・2.7%の減少となった。「地域医療支援病院」の要件である紹介率・逆紹介率については基準をクリアしたが、初診患者数、初診紹介患者数はそれぞれ 1,003 名、151 名減少し、地域社会へのアピール、病診連携の強化が今後の課題といえる。

救急搬送件数は、前年度比プラス 16 件と横這いであった。救急搬送受け入れ数の増加をめざし、引き続き担当医師の充実・強化に努めたい。

前述の診療単価上昇は入院部門で 2.6%、外来部門で 6.6%、これらは手術関連収入の増加、短期滞在対象患者数の増加、総合病院としての外来診療の充実等によるもので、入院収入、外来収入にそれぞれ 2.5%、3.5%の増収をもたらし、医業収入合計は前年比 2.8%、189 百万円の増収となった。一方で、医業費用は減価償却費減少にもかかわらず、診療材料費、薬品費、人件費等の増加によって 151 百万円増加し、さらに電子カルテ導入に伴う消費税負担もあり、償却前利益は前年度を 63 百万円下回る 517 百万円となった。

経営基盤の安定・強化面では、予て検討を進めてきた電子カルテシステムへの移行を 9 月の連休期間に行った。病院長を中心とした入念な移行準備により、導入費用の圧縮、スムーズな移行が行われ、その後も混乱なく順調に稼働している。病床管理室は、昨年引き続き「病院・病床の機能分化・機能強化」に向けて精力的な検証作業と病床再編に取り組んでおり、次年度の成果を期待したい。また、「経営の質」を向上させる目的で前年度からプロジェクトチームを編成して臨んだ JHQC (日本版医療 MB 賞クオリティクラブ) のプロフィール認証を 8 月に得ることができた。引き続き上位認証の取得に向け、次年度も質改善に取り組んでいく予定である。

人事面では、医師・看護師をはじめとする人材確保に継続的に努めたものの、9 月の医師退職に伴う脳卒中科診療の中断、期途中の小児科、形成外科医師の減員があった。しかしながら、最優先課題としてきた麻酔科医師については、次年度 5 月からの増員が確定して常勤医 2 名体制となることから、手術室運営は格段に充実することが期待される。加えて、次年度 4 月からは脳卒中科診療の再開、さらに 5 月から形成外科の 2 名体制復活が決まってい

る。初期臨床研修医マッチングでも6名枠を満たす採用ができ、医局をはじめ病院全体の活性化が期待されている。

また、看護職の労働環境の充実に向けて参加した「ワークライフバランス推進ワークショップ事業」が軌道に乗りつつあり、二交代勤務制病棟の段階的導入と相俟って、定着率向上と離職防止に一定の成果をもたらすものと評価している。引き続き事業活動を継続していきたい。

医療の安全確保については、医療安全室を軸として定期的に行われる医療安全管理委員会・対策委員会、カンファランスにより課題の抽出、改善・再発防止策が図られてきた。10月にスタートした医療事故調査制度に関しては、全職員対象および医師・運営会議委員対象の研修会を開催した。病院長による10月以降の院内死亡98症例についてのレビューが遅延なく行われたが、調査・支援センターに報告すべき症例はなかった。

職員の質および患者満足度の向上に向けて2年間継続してきた「苦情ゼロ」運動に関しては、前年度の接遇クレーム数35件から今年度は25件に減少し一定の成果はあったものの、「ゼロ」の達成に向けて引き続き接遇教育を展開していきたい。

3) 寿泉堂香久山病院

平成27年度介護報酬改定は、介護療養型医療施設において「療養機能強化型A」「同強化型B」「その他」に分類され、その選択を迫られた。療養機能強化型は、重篤な身体疾病を有する者及び身体合併症を有する認知症高齢者の占める割合及びターミナルケアの割合を算定要件としたが、これらは療養病棟入院基本料1に係る要件（医療区分3及び2の割合が80%以上）と重複しかねず、医療療養病床の運営に影響を及ぼすことも懸念されたため、減収を覚悟の上で「その他」を選択した。さらに平成24年度改定から導入された介護職員処遇改善加算制度の拡充についても、介護保険単独の施設であるならば障壁は殆どないが、当院のように医療保険を主とする施設においては介護職員以外の職種や関連施設との公平性を優先せざるを得ず、対応を見送った。そのため名目2.27%のマイナスとされた改定ではあったが、当院では実質3.55%のマイナスとなった。

患者数は入院／外来ともに予算を下回り、特に入院は1日あたり15.6名の

減少であった。主な要因として、医療分野では回復期リハビリテーション病棟は堅調だったものの、療養病棟において他医療機関からの紹介数の減少に加えて在宅復帰の強化により入院日数が短縮したこと、介護分野では郡山市内における施設等の整備が進んだことが挙げられる。

収入では回復期リハビリテーション病棟での専従医着任による体制強化加算の早期算定と、リハビリテーション実施数の増加によって大幅な増収が図られた。経費をはじめとする費用の圧縮にも努めた結果、当期経常増減額は前年度比 10.3%のプラス、予算を 7.2%上回ることができた。

平成 27 年度の事業計画の中でも最重点と位置付けたのが新病棟建設の推進である。昨年 5 月に着工してから今日まで遅延率 0%と順調に推移しており、本年 3 月には上棟を迎えた。今後は内装及びサイン意匠と什器備品等の手配に注力し、万端の体制をもって 8 月の竣工を迎えるとともに、間髪容れず移転の実施と旧病棟の解体並びに既存建物の改修を進め、平成 29 年 6 月の全体計画完遂を目指す所存である。

3 度目の更新となる病院機能評価は、最新の機能種別版 3rdG Ver1.1 で受審した。主機能を慢性期病院、また、副機能としてリハビリテーション病院を選択し同時受審で申請した。審査の結果、主機能は 90 評価項目の 70%が A 評価で、副機能でも 23 評価項目の 80%が A 評価となり、改善要望事項もなく認定を更新することができた。

ISO14001（環境保全に関する国際標準規格）の一環として新たに郡山市エコ・オフィス認定事業に参画し、省エネなど地球温暖化対策に積極的に取り組んできた。1 年間の実績は化石燃料換算で前年を 5%以上下回り、実施要綱の規程に基づき正式に認定を受けた。

4) 寿泉堂クリニック

(透析センター)

平成 27 年度の重点目標を「医療安全を底辺とした透析 IT 整備事業の推進と高度透析医療の提供」とし、寿泉堂総合病院の電子カルテシステムと寿泉堂クリニックの部門システムをオンライン化して透析情報の共有化を図るべく、「オーダーリングシステム」の導入を実施した。また、これにあわせて老朽化していた「透析情報管理システム：ダイアコム」の更新を図り業務効率

の向上を目指した。

透析患者数は過去最高人数であった前年度には及ばなかったものの、前年度比 418 名・1.9%減の年間延べ 21,123 名・を受け入れることができた。昼間仕事を持ちながら透析療法が必要な患者さんのために実施する「夜間透析」は 4.0%増加の 5,273 件となり、患者さんの治療と就労の両立に貢献することができたと思われる。

透析センターの収入総額は 635 百万円を計上し、前年度比では約 18 百万円・2.7%の減収となったものの、引き続き高い水準の医業収益を上げることができた。

(健診センター)

地域医療構想に基づく医療機能の分化が進められる中、寿泉堂クリニック健診センターでは、予防医療分野を担う観点から保健衛生事業の充実及び質の向上に積極的に取り組んできた。

平成 27 年度は特に内視鏡業務支援システムのサーバ更新と画像管理システム PACS サーバの新規導入などハード面での整備事業に力を入れ、加えて人間ドック健康診断事業の効果的・効率的事業運営を重点目標として、ソフト面の充実でも一定の成果を収めることができた。

平成 27 年度の健診事業利用者数は、人間ドック部門こそ前年度比 142 名・3.8%マイナスと若干減少したものの、一般健診部門は事業所関係の健康診断を中心に 538 名・4.7%増加し、全体で年間 15,768 名を受け入れ、407 名・2.6%の増加とすることができた。この実施人数は寿泉堂クリニック開設以来の最高人数である。その結果、健診センターのドック・健診総収入額は 340 百万円で、前年度比 10 百万円・3.1%の増収となった。

(クリニック全体総括)

平成 27 年度は、築 25 年目を迎えた建物構造のハード整備とオーダーリングシステムなどのソフト整備を進めながら、透析医療及び健診事業の質的向上を図ることを重点目標に事業運営してきた。計画はほぼ予定通りに遂行され、本年度も予防医学と人工透析を通じた地域貢献を果たすことができた。

寿泉堂クリニック全体の医業収入額は 978 百万円弱となり、これは前年度比で約 7 百万円・0.7%の減収であったが、材料費の削減や経費など約 38 百万円の費用圧縮に努めた結果、減価償却前利益は、313 百万円とはじめて 3

億円超を記録し、前年度比 24 百万円・8.6%の増益となった。

今後も財団内・寿泉堂グループとの連携をより強固なものにすると共に、県内の透析実施医療機関とも連携を保ちながら、安全を第一として患者さんへ質の高い医療を提供し、地域に貢献していく。

5) いずみ訪問看護ステーション

平成 27 年度のいずみ訪問看護ステーションの総訪問件数は総数 3,248 件で、前年度比 116 件の微増であった（二人体制加算算定利用者も一件と捉える）。内訳は介護保険訪問看護件数が 2,638 件で前年度比 193 件の増加、医療保険訪問看護件数は 610 件で前年度比 77 件の減少となった。今年度は看護師 1 名が認定資格を取得するため 6 月～2 月までの長期に亘り不在となったが、利用者受け入れを断ることなく手厚いサービスが行えたことは、スタッフ全員の協力のおかげであると感謝している。

地域においては地域包括ケア会議はじめ、郡山市高齢福祉分科会、郡山市地域包括ケア推進会、看護師就労支援懇談会（地域看護分野）、郡山市訪問看護ステーション連絡協議会等に参加すると共に、県中圏域医療介護連携調整実証事業等の委託事業にも積極的に取り組んだ。また精神科訪問看護サービスを開始し、認知症初期集中支援チームより依頼を受けチーム支援に参入することができた。

地域課題の抽出や方針決定には、まだ時間を要すると思われるが、依頼のあった内容については根拠に基づいた判断を行い、一人ひとりに心を込めたテーラーメイドサービスが提供できるよう、今後も研鑽に努めていきたい。

6) 寿泉堂香久山居宅介護支援事業所

寿泉堂香久山居宅介護支援事業所は、平成 27 年の法改正で導入された特定事業所集中減算への対応と適正管理に努め、減算を回避することができた。

ケアプラン件数については、1,814 件と若干減少したが、電話相談や来所相談は 19,953 件と増えている。

ケアプラン件数が伸びなかった要因は、以下のとおりである。

- ① 新規申請が 70 名であったのに対し、入院が 90 名、施設入所が 47 名と増加した。

② 小規模多機能施設や地域密着型施設の開所も増え、特養の空き待ちまでの施設入所傾向が強くなった。また、介護世代が代わり、より施設入所への関心が高くなっている。

③ 寿泉堂総合病院からのターミナル支援依頼は数件あったものの、在宅療養期間が短く、再入院や死亡による支援終了が目立った。

今後は、県の実証事業である退院調整ルールが策定されたため、各病院からの新規拡大に努めていきたい。

7) 郡山南部地域包括支援センター

担当地区の高齢者数は平成 27 年 1 月 1 日現在で 5,731 人、高齢化率は 23.4%であった。高齢化率は前年比で 1.5%増加、平成 18 年の開設時の高齢化率は 16.5%であり 6.9%増加し、高齢化が進んでいる。

独居や高齢者世帯、また認知症高齢者が増加していることもあり、今年度も地域包括ケアシステム構築を目指し行政や医療、介護、その他地域の関係機関と連携を図り、認知症施策の推進や地域活動に力を注いだ。民生委員協議会や社会福祉協議会の会議や活動へ参加し研修会や事例検討、情報交換などを行い連携強化に努めた。総合相談件数は 4,945 件で前年と比べ 100 件減であった。相談内容は医療や介護に関することが多く、権利擁護事業として日常生活自立支援事業や成年後見制度などの活用へ繋げたケースもあった。

介護予防については、予防給付によるケアプラン作成は 2,790 件で前年と比べ 272 件増であり、年々増加している。介護予防総合事業対象者（旧二次予防事業）は 199 名で全員に勧奨をしたが参加は 25 名だった。対象者は約 80 名増えたが参加者数は昨年とほぼ同様だった。基本チェック未回収の対象者 442 件で訪問は 104 件、チェックリストの回収は 91 件であった。今年度は回収時期に業務が重なり訪問、回収ができなかった。介護予防の普及啓発として予防教室を 15 回実施し、述べ 284 名の参加があった。その中では 4 回シリーズの健康講座を 2 地区で実施し、介護予防や介護者としての知識・技術の習得、地域の協力者としての意識付けなどを行った。認知症サポーター養成講座は 12 回実施し、430 名のサポーター養成を行った。ヨークベニマル、菜根泉町会、久留米地区社協、エフコム、橘地区社協明るいまちづくり推進部、なじみ山根、ニチイ学館、あさかの学園大学、郡山ヘアメイクカレ

ッジ、寿泉堂綜合病院看護部等を実施した。また福島県病院協会主催看護補助者研修会で認知症施策や認知症高齢者の接し方等について講義を行った。

地域ケア会議開催に向け、社会福祉協議会と合同で三中地域を対象に研修会を実施した。地域ケア会議は困難ケースを対象に開催した。

寿泉堂綜合病院や寿泉堂香久山病院、いずみ訪問看護ステーション、寿泉堂香久山居宅介護支援事業所、スプリングガーデンあさか居宅介護支援事業所、ヘルパーステーションと研修会を実施し、スキルアップや交流を図った。

3. 収 支 報 告

平成 27 年度決算の医業収入総額は前年度比 102.6%・256 百万円増収の 10,019 百万円となり、初めて 100 億円を超える医業収入を確保することができた。これに対し医業費用は、前年度比 101.6%・157 百万円増の 9,778 百万円となった。

材料費の増加、電子カルテ整備による消費税負担額の増加等があったものの、前年度に引き続き震災復興関係を中心に約 7 千万円の補助金収入があり、また、減価償却費の減少、水光熱費の削減などにより、経常外増減額を合わせた一般正味財産増減額は前期比 57 百万円増益の 212 百万円となり、昨年度に続き黒字を確保、増収増益決算となった。

また、償却前一般正味財産増減額については、減価償却費の減少により対前年度 12 百万円の減益となったものの、医業収入比 9.5%の 952 百万円を確保することができた。

4. 会 議 報 告

本年度の理事会・評議員会等の開催状況は、次の通りである。

1) 理 事 会

○ 定 時

① 開催日 平成 27 年 6 月 9 日(火)

② 議決事項

- ・ 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告・決算報告について
- ・ 第 2 号議案 会計監査人の報酬について
- ・ 第 3 号議案 理事の任期満了に伴う理事候補者の選任について

- ・ 第 4 号議案 定時評議員会の招集について

③ 報告事項

- ・ 寿泉堂香久山病院整備計画について
- ・ 関連施設の現況報告について

○ 臨時（みなし決議）

① みなし開催日 平成 27 年 6 月 26 日(金)

② みなし議決事項

- ・ 理事長選定について
- ・ 副理事長選定について
- ・ 常務理事選定について

○ 定 時

① 開催日 平成 28 年 3 月 28 日(月)

② 議決事項

- ・ 第 1 号議案 平成 28 年度事業計画・収支予算案について
- ・ 第 2 号議案 平成 28 年度借入限度額設定について

③ 報告事項

- ・ 平成 27 年度決算見通しについて
- ・ 寿泉堂香久山病院新病棟建設経過報告について

2) 評 議 員 会

○ 定 時

① 開催日 平成 27 年 6 月 26 日(金)

② 議決事項

- ・ 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告・決算報告について
監査報告について
- ・ 第 2 号議案 理事の任期満了に伴う理事の選任について
- ・ 第 3 号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の
一部改定について

③報告事項

- ・ 寿泉堂香久山病院整備計画について
- ・ 関連施設の現況報告について

3) 業務監査・会計監査に関する会議

① 平成 26 年度第 62 期会計監査人監査報告

開催日 平成 27 年 6 月 5 日

内容 決算報告書に関する監査

② 平成 26 年度第 62 期監事監査

開催日 平成 27 年 6 月 5 日

内容 業務監査、会計監査など

③ 理事者等とのディスカッション

開催日 平成 27 年 7 月 16 日

内容 監査法人による監査計画作成についての事前ヒアリング

④ 理事者等とのディスカッション

開催日 書面にて実施

内容 監査法人による監査計画についての説明

⑤ 理事者等とのディスカッション

開催日 平成 28 年 3 月 16 日

内容 監査法人による決算に向けての検討事項の把握

4) その他、常勤理事による財団運営会議を毎月第 1 週に開催。

5. 診 療 報 告

○ 平成 27 年度の患者数等は、次の通りである。

(患者数)

	寿泉堂総合病院		寿泉堂香久山病院		寿泉堂クリニック		合 計	
	名	前年比 (%)	名	前年比 (%)	名	前年比 (%)	名	前年比 (%)
外来患者総数	147,382	97.3%	13,891	89.2%	21,369	96.9%	182,642	96.6%
一日平均	497.9	96.9%	46.9	88.8%	68.1	96.5%	612.9	96.2%
新患者数	15,511	93.9%	381	69.3%	190	62.5%	16,082	92.6%
入院患者総数	84,427	99.4%	76,601	101.6%			161,028	100.4%
一日平均	230.7	99.1%	209.3	101.3%			440.0	100.1%
新入院患者数	6,987	100.3%	448	102.5%			7,435	100.4%
退院患者数	6,986	100.2%	463	107.7%			7,449	100.6%
病 床 数	305	100.0%	250	100.0%			555	100.0%

(救急患者数及び救急車による受入件数)

	平成 27 年度	平成 26 年度	増減	前年度比
入院	1,434 名	1,344 名	90 名	106.7%
外来	6,818 名	7,078 名	△260 名	96.3%
救急車搬送件数	2,460 件	2,444 件	16 件	100.7%

(人間ドック及び各種健診受診者数)

健診内容	平成 27 年度	平成 26 年度	前年度比
日本病院会指定による二日人間ドック	67 名	93 名	72.0%
日本病院会及び全日本病院協会指定による一日人間ドック	3,576 名	3,692 名	96.9%
全国健康保険協会による生活習慣病予防健診	2,849 名	2,494 名	114.2%
一般事業所健診	6,351 名	6,256 名	101.5%
郡山市住民健診	1,895 名	1,817 名	104.3%
個人健診	398 名	385 名	103.4%
計	15,136 名	14,737 名	102.7%

※再掲

特定保健指導	29 名	18 名	161.1%
栄養指導	145 名	93 名	155.9%

(いずみ訪問看護ステーション)

	平成 27 年度	平成 26 年度	前年比
利用者延人数	569 名	531 名	107.2%
訪問延回数	3,248 回	3,025 回	107.4%
新規利用者数	46 名	37 名	124.3%

(寿泉堂香久山居宅介護支援事業所)

	平成 27 年度	平成 26 年度	前年比
ケアプラン作成件数	1,814 件	1,865 件	97.3%
認定調査件数	157 件	165 件	95.2%

(郡山南部指定介護予防支援事業所)

	平成 27 年度	平成 26 年度	前年比
介護予防プラン作成件数	2,790 件	2,518 件	110.8%

○本年度導入した主な医療機器及びその他の機器は、以下の通りである。

(寿泉堂総合病院)

電子カルテシステム	医療用リニアアクセラレータ装置
超音波診断装置	栄養管理システム
調剤支援システム	骨密度測定装置
手術用双眼顕微鏡	生体情報モニタ
自動血球洗浄遠心機	全自動血液培養・抗酸菌培養検査装置
IPC コンソール ENT	クロッサージェネレーター
保育器	膀胱尿道鏡 A セット
深部温モニター	散乱線防護クロス
ネオブルーLED 光線治療器	臓器保管用真空包装機
薬剤管理システム	備品管理システム
スイッチング HUB ギガスイッチ	作業管理ユニット

(寿泉堂香久山病院)

リハビリテーション支援システム	自動血球分析装置
POCT 血液分析装置	スケールストレッチャー
尿化学分析装置	注射薬カート
電動ベッド 34 台	超低床電動ベッド 6 台

(寿泉堂クリニック)

透析支援システム	内視鏡 SolemioBelle サーバクライアント
ベッドサイドモニター 2 台	オーダーリングシステム
PACS 画像サーバ拡張・DICOM 接続	(マンモグラフィ、胃 X 線装置)

(いずみ訪問看護ステーション)

介護システム

(寿泉堂香久山居宅介護支援事業所)

訪問用軽自動車 1 台	介護システム・在宅ケアマネジメント支援システム
-------------	-------------------------

(郡山南部地域包括支援センター)

介護システム	地域包括支援センター支援システム
--------	------------------

6. 医 師 人 事 報 告

○平成 27 年度の医師の異動は、次の通りである。

(1) 着 任

平成 27 年	4 月 1 日	循環器内科	谷 川 俊 了
	4 月 1 日	小 児 科	金 子 真 利
	4 月 1 日	整 形 外 科	川 原 田 圭
	4 月 1 日	形 成 外 科	阪 野 一 世
	4 月 1 日	形 成 外 科	苅 部 淳
	4 月 1 日	外 科	星 信 大
	4 月 1 日	眼 科	石 橋 誠 一
	4 月 1 日	耳 鼻 咽 喉 科	鈴 木 俊 彦
	4 月 1 日	香久山・脳神経外科	佐 藤 正 憲
	4 月 1 日	香久山・歯科	河 西 敬 子
	4 月 1 日	研 修 医	菊 田 瑛 美
	4 月 1 日	研 修 医	佐 藤 哲
	4 月 1 日	研 修 医	谷 哲 矢
	4 月 1 日	研 修 医	真 尾 裕 希 子
	4 月 1 日	歯 科 研 修 医	菊 地 英 樹
	5 月 1 日	歯 科 口 腔 外 科	北 畠 健 裕
	6 月 1 日	外 科	菅 野 英 和
	8 月 31 日	脳 神 經 外 科	村 上 友 太
	9 月 1 日	産 婦 人 科	植 田 牧 子
平成 28 年	11 月 1 日	形 成 外 科	北 村 成 紀
	11 月 5 日	脳 神 經 外 科	古 川 佑 哉
	1 月 7 日	脳 神 經 外 科	山 田 昌 幸
	3 月 1 日	眼 科	前 原 紘 基
	3 月 9 日	脳 神 經 外 科	黒 見 洋 介

(2) 退 職

平成 27 年	4 月 30 日	歯 科 口 腔 外 科	秋 本 哲 男
	5 月 31 日	外 科	宮 本 康 太 郎
	8 月 31 日	脳 卒 中 科	芝 崎 謙 作
	8 月 31 日	小 児 科	山 田 優 里 子
	9 月 30 日	産 婦 人 科	菅 野 潔
	10 月 31 日	形 成 外 科	苅 部 淳
	11 月 1 日	脳 神 經 外 科	村 上 友 太
	12 月 31 日	形 成 外 科	北 村 成 紀
平成 28 年	1 月 6 日	脳 神 經 外 科	古 川 佑 哉
	2 月 29 日	眼 科	石 橋 誠 一
	3 月 31 日	脳 神 經 外 科	山 田 昌 幸
	3 月 31 日	整 形 外 科	川 原 田 圭
	3 月 31 日	歯 科 口 腔 外 科	本 田 健 太 郎
	3 月 31 日	研 修 医	五 十 嵐 彩 華

3月31日 研修医 和田茉莉奈
 3月31日 歯科研修医 菊地英樹

7. 公 益 事 業 報 告

(1) 救急医療活動

○救急医療に対し、郡山地区救急病院協議会、郡山地区第二次病院協議会の運営に協力した。

○救急告示病院として、全日救急患者受入に対応した。さらに、郡山地区第二次病院群輪番制により毎週木曜日・金曜日と第2日曜日・第4日曜日を担当し、積極的に地域医療に協力した。担当日における時間外の取扱患者数は、次の通りである。

	平成 27 年度	平成 26 年度	増減	前年度比
入院（担当日）	829 名	802 名	27 名	103.4%
入院（年度内総人数）	1,434 名	1,344 名	90 名	106.7%
外来（担当日）	5,990 名	6,173 名	△183 名	97.0%
外来（年度内総人数）	6,818 名	7,078 名	△260 名	96.3%
救急車搬送件数（担当日）	1,581 件	1,574 件	7 件	100.4%
救急車搬送件数（年度内総件数）	2,460 件	2,444 件	16 件	100.7%

○郡山市休日・夜間急病センターの二次病院として、毎週木曜日・金曜日と第2日曜日・第4日曜日を担当し、病床の確保等を通じ全面的に協力した。

(2) 育英事業

○平成 27 年度の奨学生は、次の通りである。

群馬医療福祉大学看護学科	2 名
国際医療福祉大学保健医療学部看護学科	2 名
千葉科学大学看護学部看護学科	1 名
群馬パース大学保健科学部看護学科	1 名
新潟医療福祉大学健康科学部看護学科	1 名
藤沢市立看護専門学校	1 名
晃陽看護栄養専門学校	1 名
福島県立総合衛生学院看護学科	1 名
ポラリス保健看護学院	1 名

太田看護専門学校	3 名
仁愛看護福祉専門学校	2 名
公立岩瀬病院附属看護学院	1 名
国立病院機構福島病院附属看護学校	3 名
白河厚生総合病院附属高等看護学院	1 名
福島看護専門学校	2 名
郡山看護専門学校	2 名

(3) 公衆衛生協力事業

○郡山市内小中高等学校 7 校及び婦人会保育所の健康診断、妊婦健診、乳幼児並びに 3 才児健診を実施した。

○産業医として市内各事業所の産業安全衛生活動を実施した。

・健康診断実施結果による有所見者への保健指導を実施

(6 事業所 従業員総数 1,512 名)

・健康相談・健康セミナーを事業所にて開催 (4 事業所 年間 52 回)

○厚生労働省からの要請による院内感染対策サーベイランス事業に協力した。

○エイズ治療拠点病院として、サーベイランス調査、HIV 感染患者の診療に協力した。

○周産期医療協力病院として、福島県周産期医療システムに協力した。

○出産を控えた患者と家族を対象として、毎週土曜日に「パパママクラス」を開催した。

○献血事業協力のため、福島県赤十字血液センターでの採血協力のほか採血バスへの医師派遣を毎月 1 回ないし 2 回実施した。

○社会福祉法人いずみ福祉会への診療協力を実施した。

○郡山市の委託により地域包括支援センターを運営した。

(郡山南部地域包括支援センター運営実績)

	平成 27 年度	平成 26 年度	前年比
相談業務	4,945 名	5,046 名	98.0%
介護予防教室 (認知症サポーター養成講座含む)	27 回	17 回	158.8%
基本チェックリスト未回収者の実態把握	91 件	213 件	42.7%

○地域住民を対象とする健康教室等を開催した。

（寿泉堂総合病院）

平成 27 年 5 月 12 日	「看護の日」イベント	200 名参加
6 月 29 日	寿泉堂健康教室 「ストレスとの上手なつきあい方」	70 名参加
7 月 28 日	寿泉堂健康教室 「ストレスとの上手なつきあい方」	10 名参加
9 月 9 日	救急の日イベント AED 講習会、救急蘇生・応急手当（成人及び小児）	32 名参加
平成 28 年 2 月 10 日	寿泉堂健康教室 「循環器内科の先生がおしえてくれる足の病気について」	50 名参加

（寿泉堂香久山病院）

平成 27 年 6 月 6 日	昭和地区・昭和町集会所にて「いきいきサロン」 「介護保険について」	
6 月 13 日	小原田地区・小原田地域公民館にて「いきいきサロン」 「介護保険について」	
6 月 20 日	香久池地区・山崎集会所にて「いきいきサロン」 「介護保険について」	
7 月 11 日	三中地区・深沢集会所にて「いきいきサロン」 「介護保険について」	
8 月 20 日	家庭医学講座 「自宅介護に活かせるワンポイント講座」	
10 月 3 日	昭和地区・昭和町集会所にて「いきいきサロン」 「寝たきり予防に対する講演・体操」	
10 月 10 日	小原田地区・小原田地域公民館にて「いきいきサロン」 「寝たきり予防に対する講演・体操」	
10 月 17 日	香久池地区・山崎集会所にて「いきいきサロン」 「寝たきり予防に対する講演・体操」	
平成 28 年 2 月 18 日	家庭医学講座 「あなたにもマイナンバーはじまります」 講師：郡山市ソーシャルメディア推進課	

（寿泉堂クリニック）

平成 27 年 12 月 10 日	透析患者勉強会 「凧としてリンと闘う」	48 名参加
-------------------	------------------------	--------

○地域の医師、医療機関を対象とする医学講座並びに症例懇話会を開催した。

（医学講座）

平成 27 年 5 月 11 日	第 37 回寿泉堂病院公開医学講座 演題「脳梗塞の Up date」 講師 日本大学神経内科学講座教授 木村和美先生
11 月 4 日	第 38 回寿泉堂病院公開医学講座 演題「慢性心不全の治療：予後の改善を目指して」 講師 福島県立医科大学循環器科・血液内科学講座 主任教授 竹石恭知先生

（症例懇話会）

平成 27 年 6 月 30 日	循環器内科	・抹消血管について ・心房細動の外来治療 参加人数 28 名
7 月 22 日	外科・消化器内科	・精密検査中に冠動脈疾患が判明した虫垂炎の 1 例 ・門脈血ガス血症を呈した非閉塞性腸管虚血症の 1 例 ・急性閉塞性化膿性胆管炎の 1 例 参加人数 25 名
10 月 7 日	歯科口腔外科	・下顎骨に生じた広範な MRONJ の 1 例 ・咀嚼筋腱・腱膜過形成症の 2 例 ・口唇裂・口蓋裂治療の現況 参加人数 50 名
11 月 26 日	産婦人科	・腹腔鏡下仙骨膣固定術の導入 ・最近経験した周産期心筋症の 1 例 ・今年度の紹介・逆紹介について 参加人数 30 名
12 月 7 日	寿泉堂忘年懇話会	参加人数 178 名

○地域医療支援病院として、地域医療従事者に向けた研修会を開催した。

（寿泉堂総合病院）

平成 27 年 6 月 24 日	感染対策委員会研修会 「クロストリジウム・ディフィシルについて」	21 名参加
11 月 13 日	感染対策委員会研修会 「結核について」	6 名参加
平成 28 年 2 月 1 日	感染対策委員会研修会 「流行性ウイルス疾患について」	9 名参加

○地域の健康増進、各種行事等へスタッフを派遣し、協力した。

平成 27 年 4 月 27 日	グループホームすぷりんぐ施設研修 講師 「脱水予防とその対応、高齢者の緊急時対応について」	看護師 1 名
4 月 29 日	郡山シティーマラソン 救護班	看護師 1 名
5 月 30 日	まちなか子ども夢駅伝競争大会 救護班	看護師 2 名
7 月 9 日	平成 27 年度介護予防支援従事者研修 講師	介護支援専門員 1 名
7 月 25 日	スーパースポーツプレゼンツ 3 人制バスケットボール大会 救護班 (8 月 2 日)	看護師 2 名
8 月 6 日	郡山市・奈良市青少年交流事業 救護班 (～7 日)	看護師 1 名
8 月 7 日	郡山うねめ祭り 救護班 (～8 日)	看護師 2 名
8 月 9 日	福島県少年野球大会 救護班	看護師 1 名
8 月 19 日	看護師合同職能集会シンポジウム 講師	介護支援専門員 1 名
9 月 2 日	第 46 回日本看護学会 慢性期看護学術集会 救護班 (～3 日)	看護師 2 名
11 月 13 日	平成 27 年度看護補助者研修会 講師	介護支援専門員 2 名
12 月 15 日	平成 27 年度福島県介護支援専門員再研修、更新研修会 講師 (～17 日、1 月 13 日)	介護支援専門員 1 名
平成 28 年 1 月 27 日	平成 27 年度福島県介護支援専門員研修会 講師 (～29 日、3 月 2 日)	介護支援専門員 1 名

○ボランティア育成運営委員会により、ボランティア育成講座及び実習を開催し、ボランティアの積極的な受け入れを行った。

(ボランティア育成運営委員会)

寿泉堂総合病院 11 回

寿泉堂香久山病院 11 回

○地域のコミュニティスペースとして、寿泉堂総合病院の会議室を開放した。

平成 27 年 5 月 30 日	講演会「最後まで輝いて生きるために」 高齢社会をよくする女性の会郡山
------------------	---------------------------------------

5月30日	第47回通常総会 郡山市駅前大通商店街振興組合
10月13日	第42回郡山形成外科研究会 第一三共(株)
11月9日	第20回看護補助者研究会 福島県病院協会
12月4日	看護師実習指導者講習会実習打ち合せ 福島県看護協会
平成28年2月27日	100万人のクラシックライブ 一般財団法人100万人のクラシックライブ

(4) 研究研修事業

臨床研修医、医学実習生及びその他の実習生を受け入れた。また、関連大学に研究費の助成を実施した。

○研究助成・事業援助の状況

1) 関連大学へ研究助成	15 件	33,500,000 円
2) 関連各種学会へ事業援助	9 件	1,230,000 円
3) 地域への事業援助	25 件	933,000 円
4) 社会福祉法人いずみ福社会へ事業援助	1 件	12,000,000 円

○臨床研修医の受入状況

- 1) 基幹型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）
 - マッチングによる2年間の研修（医科） 1年次4名 2年次2名
 - マッチングによる1年間の研修（歯科） 1名
- 2) 福島県立医科大学附属病院の協力型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）
 - ・研修医 2年次1名
研修期間 平成27年8月1日～9月30日
研修科目 産婦人科
 - ・研修医 1年次1名
研修期間 平成27年11月1日～11月30日
研修科目 眼科

○看護学生等の受入状況

	学校名	人数
看護学生	福島県立医科大学看護学部	81 名
	福島県立総合衛生学院	15 名
	郡山看護専門学校	234 名
	ポラリス保健看護学院	4 名
	国際メディカルテクノロジー専門学校	20 名
薬学生	奥羽大学	5 名
リハビリテーション科学生	日本医療科学大学	1 名
	東北福祉大学	2 名
	東北文化学園大学	2 名
	国際メディカルテクノロジー専門学校	1 名
	郡山健康科学専門学校	2 名
	仙台青葉学院短期大学	2 名
	仙台医健専門学校	1 名
	仙台医療技術専門学校	1 名
	仙台保健福祉専門学校	2 名
臨床工学士学生	国際メディカルテクノロジー専門学校	2 名
栄養士学生	郡山女子大学	8 名
	郡山女子大学短期大学	6 名
	会津短期大学	1 名
音楽療法士学生	郡山女子大学	14 名
家政学科学生	郡山女子大学	3 名
歯科衛生士学生	福島医療専門学校	22 名
介護支援専門員実務研修	福島県社会福祉協議会	4 名
人材育成研修	福島県看護協会	2 名
再就職支援研修		3 名

○看護インターンシップ受入状況

実習内容	人数
公立岩瀬附属看護学院	6 名
宮城大学看護学部	1 名

福島病院附属看護学校	2 名
福島県立医科大学	8 名
母子保健研修センター	1 名
東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校	2 名
ポラリス保健看護学院	2 名
東邦大学大森病院	1 名
新潟医療福祉大学	1 名
福島東稜高等学校	1 名
国際メディカルテクノロジー専門学校	8 名

○消防署救急医療実習受入状況

実習内容	人数
郡山地方広域消防組合・救急隊員病院研修	9 名

○一般の実習受入状況

実習内容	人数
高校生一日看護体験	47 名
福島県立郡山商業高等学校高齢者とのふれあい体験学習	280 名
福島県立清陵情報高等学校職業体験	1 名
福島県立湖南高等学校ジュニアインターンシップ	1 名
郡山市立郡山第一中学校職業体験	1 名
郡山市立高瀬中学校職業体験	3 名

○研究事業

1) 学会発表演題数（診療部） 38 題

- ・遠藤平仁 ： 第 59 回日本リウマチ学会
全身性強皮症 RenalCrisis の病態生理と制御
- ・遠藤平仁 ： 第 25 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会
全身性強皮症の爪床毛細血管病変観察による治療反応性の検討
- ・岡本正俊 ： 第 14 回福島・新潟・山形血液スライドカンファレ

ンス

TphALL の寛解期に多発性骨髄腫を発症した症例

- ・ 鈴木智人 ： 第 160 回日本循環器学会東北地方会
冠動脈解離による急性心筋梗塞を 2 度起こした 50 代女性の 1 例
- ・ 鈴木智人 ： 第 38 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会
手技終了直後に起こった急性ステント血栓症の 1 例
- ・ 水上浩行 ： 第 24 回日本心血管インターベンション治療学会
The two cases of Spontaneous Coronary Artery Dissection in our hospital
- ・ 水上浩行 ： 第 63 回日本心臓病学会
当院での FFR ガイド PCI における Drfer 症例の特徴
- ・ 水上浩行 ： 第 14 回日本フットケア学会
当院透析クリニックにおける PAD スクリーニングについて（簡易 ABI の有用性）
- ・ 水上浩行 ： 第 39 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会
Filtrap 展開部位に慢性期高度狭窄をきたした 1 例
- ・ 水上浩行 ： JET2016
A complication case of common femoral artery dissection
- ・ 酒井信子 ： 第 118 回日本小児科学会
福島原発事故後の日光浴不足で発症したビタミン D 欠乏性くる病の 1 例
- ・ 藁谷朋子 ： 第 57 回日本小児血液・がん学会
CNS 転移を有する化学療法抵抗性再発黄紋筋肉腫に対し Pazopanib を併用した緩和的低用量化学療法を施行した 1 例
- ・ 村上友太 ： 第 79 回福島脳神経外科懇話会
脳動脈瘤クリッピング術後に一過性の失語症を呈した 1 例
- ・ 菅野裕雅 ： 第 59 回日本リウマチ学会総会
仰臥位前方進入法（DAA）による人工関節手術合併症の検討
- ・ 菅野裕雅 ： 第 52 回日本リハビリテーション医学会学術集会

環軸椎間砂時計腫（神経鞘腫と髄膜腫の混合性腫瘍）の1例

- ・菅野裕雅：第64回東日本整形災害外科学会
外側型腰椎椎間板ヘルニア手術例の検討
- ・菅野裕雅：第25回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会
PCL（後十字靱帯）不全により、脛骨後方亜脱臼を呈したリウマチ膝に対し人工関節置換を行った1例
- ・菅野裕雅：東日本整形災害外科学会雑誌
化膿性脊椎炎を伴わない腰椎硬膜外膿瘍に対し手術を行った症例の検討
- ・荒 文博：第42回日本股関節学会学術集会
当院における90歳以上の大腿骨近位部骨折に対する手術症例の治療成績
- ・川原田 圭：第64回東日本整形災害外科学会
背部弾性繊維腫の1手術例
- ・鈴木博志：第55回日本産科婦人科内視鏡学会
腹腔鏡下仙骨腫固定術（LSC）の導入と術式工夫
- ・大和田真人：第139回東北連合産科婦人科学会
当科におけるマイクロ波子宮内膜アブレーション（MEA）による過多月経の治療成績
- ・大和田真人：第63回北日本産科婦人科学会
当院における腹腔鏡下子宮全摘術（TLH）の後方視的検討～50歳からの腹腔鏡～
- ・菅野 潔：第139回東北連合産科婦人科学会
Wanderlich 症候群に対する Minimally Invasive Laparoscopic Surgery
- ・菅野 潔：4th Reduced Port Surgery Forum in Akita
Reduced Port Surgery が腹腔鏡下手術に還元し得るもの～Effects of RPS～
- ・菅野 潔：第55回日本産科婦人科内視鏡学会
Minimally invasive laparoscopic surgery in a patient with Wunderlich syndrome

Reduced Port Surgery により還元される腹腔鏡下手術手技

- ・ 百瀬昭志 : 第 26 回東北 PD カンファレンス
PD+HD 併用療法患者個々における最適な透析膜の検討
- ・ 百瀬昭志 : 第 60 回日本透析医学会学術集会・総会
静脈側残遺グラフトが原因であった血清腫の 1 例
- ・ 百瀬昭志 : 第 19 回日本アクセス研究会学術集会・総会
バスキュラーアクセス作製時における spasm の検討 ―超音波
検査における上腕動脈の変化―
- ・ 百瀬昭志 : 第 21 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会
PD+HD 併用療法患者におけるダイアライザーについての検討
- ・ 石橋誠一 : 第 69 回日本臨床眼科学会
特発性黄斑上膜にみられる血管周囲異常所見の術後変化
- ・ 鈴木俊彦 : 第 67 回日本気管食道科学会
大球性貧血を伴った食道 Web の 1 例
- ・ 日下部 崇 : 第 81 回日本病理学会東北支部学術集会
子宮筋腫に合併した特異な内膜病変
- ・ 本田健太郎 : 第 60 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術
大会
BRONJ が誘因となった頭頸部ガス壊疽の 1 例
- ・ 五十嵐彩華 : 第 123 回日本小児科学会福島地方会
哺乳力不良から診断された脊髄性筋萎縮症 I 型の 1 例
- ・ 五十嵐彩華 : 第 205 回日本内科学会東北地方会
たこつば様心筋障害発症を契機に発見された von Recklinghausen
病患者の褐色細胞腫の 1 例
- ・ 佐藤 哲 : 第 28 回心臓性急死研究会
当院で 1 年間に経験した原発性冠動脈解離の 2 症例
- ・ 谷 哲矢 : 第 206 回日本内科学会東北地方会
当院における FFR ガイド PCI で Defer した症例での MACE 発
症患者の特徴

2) 剖検数 4 体

3) 治験薬施用承認件数 5 件

○研修事業

1) 研究研修のための学会等への派遣 (延人数)

	本部	寿泉堂	香久山	クリニック	いずみ訪問	居宅介護
診療部		309 名	10 名	45 名		
看護部	5 名	172 名	78 名	45 名	11 名	2 名
診療支援部		84 名	20 名	31 名		
事務部	7 名	194 名	40 名	15 名		1 名
その他		15 名				
合計	12 名	774 名	148 名	136 名	11 名	3 名

2) 教育研修等

(法人)

平成 27 年 7 月 18 日	職員接遇研修会「患者接遇の基本」	79 名参加
11 月 18 日	新入職員フォローアップ研修会	61 名参加
平成 28 年 1 月 19 日	第 23 回寿泉堂病院学会	121 名参加
3 月 16 日	平成 28 年度採用前職員オリエンテーション(～18 日)	58 名参加

(寿泉堂総合病院)

平成 27 年 6 月 19 日	安全な輸血実施に向けての当院の取り組み&ガイドライン	48 名参加
11 月 16 日	高齢者医療研修会 「高齢者医療について」	97 名参加
12 月 21 日	保険診療に関する研修会 「査定と返戻について～現状と対策～」	138 名参加
平成 28 年 2 月 10 日	NST 研修会 「1 早期経腸栄養の必要性について 2NST の活動について」	98 名参加
3 月 1 日	平成 27 年度クリニカルパス検討会	81 名参加
3 月 22 日	保険診療に関する研修会 「H28 年度診療報酬改定」	169 名参加

(寿泉堂香久山病院)

平成 27 年 6 月 23 日	ユマニチュードについて (25 日)	77 名参加
7 月 2 日	BLS 研修会 (7 日、9 日～10 日、16 日、22 日～24 日、28 日)	186 名参加
7 月 31 日	高齢者に対する接し方	28 名参加
8 月 27 日	脳血管疾患について	76 名参加
9 月 8 日	褥瘡研修会 (15 日)	80 名参加
9 月 17 日	病棟の役割と入退院調整のしくみにつて	57 名参加
9 月 28 日	職場でのメンタルヘルス	34 名参加
11 月 12 日	NST 研修会 「Gfine～シンバイオティックス」	45 名参加
11 月 13 日	職場紹介 (総務課・特浴・デイケア)	37 名参加
11 月 19 日	終末期ケア	62 名参加
平成 28 年 1 月 21 日	認知症について	41 名参加
3 月 9 日	院内研究発表会	37 名参加

(寿泉堂クリニック)

平成 27 年 5 月 21 日	健診センター勉強会 「胃透視検査について」	11 名参加
5 月 28 日	透析センター勉強会 「CKD-MBD について」	16 名参加
8 月 11 日	透析センター勉強会 「透析患者 QOL 向上に向けた当院の取り組み」	21 名参加
8 月 18 日	健診センター勉強会 「大腸内視鏡時の用手圧迫法について」	11 名参加
8 月 27 日	接遇研修会 (ロールプレイング)	41 名参加
9 月 24 日	健診センター勉強会 「ヘリコバクターピロリ感染症について」	9 名参加
9 月 24 日	透析センター勉強会 「レグパラ 12.5 mg について」	16 名参加
9 月 28 日	健診センター勉強会 「胃内視鏡ルゴール染色手順の復習」	7 名参加
10 月 22 日	透析センター勉強会 「腎性貧血について」	19 名参加
11 月 26 日	透析センター勉強会 「BLS について」	21 名参加

12月17日	健診センター勉強会 「マンモグラフィについて」	9名参加
12月24日	透析センター勉強会 「HCVについて」	17名参加
平成28年 1月29日	透析センター勉強会 「緊急時の対応」	14名参加
2月18日	接遇研修会「相手の心を満たす言葉がけ」 講師 渡辺久美子先生	49名参加
2月23日	透析センター勉強会 「ピートルチュアブルについての説明」	17名参加
2月25日	透析センター勉強会 「HDの基礎」	17名参加
3月22日	透析センター勉強会 「2015年版腎性貧血ガイドライン改定の説明」	17名参加
2月23日	透析センター勉強会 「リスクマネジメントについて」	15名参加

3) 海外研修

アメリカ合衆国（ホノルル地区）病院視察 平成27年6月7日～6月12日 6日間 派遣人数：3名 山崎由紀子、井上淳子、西間木美佐子
オーストラリア（シドニー、ゴールドコースト）病院視察 平成27年6月14日～6月19日 6日間 派遣人数：3名 溝井和枝、矢吹洋子、柳沼千信

8. 設備改修工事等報告

平成27年度に実施した工事は、以下の通りである。

（寿泉堂総合病院）

- 電子カルテ用LAN増設工事
- 分娩室改修工事
- 2階カウンター増設工事
- Jパーキング3号機修繕工事
- 非常電源設備改修工事

（寿泉堂クリニック）

- 6、7階系ガスヒートポンプエアコン更新工事

○4、5階系ガスヒートポンプエアコン更新工事

○オーダーリングシステム用 LAN 増設工事

9. 労 使 関 係 報 告

○平成 27 年 5 月 18 日開催の労使協議会において、平成 27 年度の給与改定及び以下の項目について妥結した。

昇給率 2.02% 昇給額 3,894 円（標準 5 号の定期昇給）

労働条件

○平成 27 年 5 月 18 日開催の労使協議会において、平成 27 年度の上期賞与の支給率について妥結した。

（基本給+調整手当 4,000 円）×（基準賞与 1.5ヶ月+業績賞与 0.9ヶ月）

○平成 27 年 10 月 1 日から寿泉堂総合病院 9 階病棟において 2 交替制勤務を試験導入し、同年 12 月 1 日から正式スタートした。

○平成 27 年 10 月 1 日から寿泉堂総合病院 9 階病棟における 2 交替制勤務を 4 人夜勤体制に増員した。

○平成 27 年 11 月 1 日から寿泉堂総合病院 10 階病棟において 2 交替制勤務を試験導入し、平成 28 年 1 月 1 日から正式スタートした。

○平成 27 年 11 月 24 日開催の労使協議会において、平成 27 年度下期賞与の支給率について妥結した。

（基本給+調整手当 4,000 円）×（基準賞与 2.0ヶ月+業績賞与 0.4ヶ月）

○平成 28 年 4 月 1 日からの休日・時間外労働（36 協定）及び 1 年単位の変形労働時間制に関する労使協定を行った。

○労使双方の代表によって構成する「給与委員会」を定例開催した。

10. 庶務事項報告

○平成28年3月31日現在の職員数は次の通りである。

(単位：人)

	医師		看護師		医療技術員		事務職員		その他		計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
本部			1				16				17	
寿泉堂	49	91	235	27	97	1	70	1	56	2	507	122
香久山	5	14	76	2	43	1	14		69	9	207	26
クリニック	4	9	30	6	7	2	13	1	3		57	18
いずみ訪問			6	1							6	1
包括支援			4				1				5	
居宅介護			4				2				6	
計	58	114	356	36	147	4	116	2	128	11	805	167

※休職者除く

○当法人及び寿泉堂松南病院を退職した元職員による寿泉堂病院OB会「寿友会」の運営に協力した。

○防火避難訓練を次の通り実施した。

寿泉堂総合病院	平成27年	6月23日	(総合訓練)
		10月28日	(総合訓練)
		12月16日	(部分訓練)
	平成28年	1月27日	(部分訓練)
		2月9日	(部分訓練)
		2月23日	(部分訓練)
寿泉堂香久山病院	平成27年	3月7日	(部分訓練)
		6月26日	(総合訓練)
		8月27日	(部分訓練)
	平成28年	10月19日	(総合訓練)
		1月14日	(部分訓練)
		2月17日	(部分訓練)
寿泉堂クリニック	平成27年	6月18日	(総合訓練)
		8月27日	(人工透析緊急離脱・避難訓練)
		9月1日	(透析センター 災害時情報伝達訓練)
		10月29日	(総合訓練)
さくら保育園		毎月第3木曜日	

- 三部久夫公認会計士による、会計指導を受けた。
- 新日本有限責任監査法人による法定監査を受けた。
- 従業員の健康確保、労働環境確立と労働能力高揚を目指して、衛生委員会（昭和 55 年 1 月制定）を 12 回開催した。
- 院内感染の予防と拡大防止を目的とした院内感染対策委員会（平成 4 年 4 月制定）を 12 回開催した。
- 医療ガス（診療の用に供する酸素、窒素、各種麻酔ガス等）設備の安全管理を図り患者の安全を確保するため、医療ガス安全委員会及び医療ガス設備取扱講習会を次の通り開催した。

（委員会）

寿泉堂総合病院	平成 28 年 2 月 29 日
寿泉堂香久山病院	平成 27 年 12 月 28 日
寿泉堂クリニック	平成 27 年 5 月 11 日

（取扱講習会）

寿泉堂総合病院	平成 27 年 4 月 6 日
寿泉堂香久山病院	平成 27 年 10 月 17 日
寿泉堂クリニック	平成 27 年 6 月 2 日
	平成 27 年 12 月 1 日

- 透析機器の安全管理を図り患者の安全を確保するため、透析機器安全委員会を次の通り開催した。

（委員会）

寿泉堂クリニック	平成 27 年 4 月 14 日
----------	------------------

（医療機器取扱研修会）

寿泉堂クリニック

平成 27 年 4 月 7 日	皮膚灌流圧測定装置：PAD4000	18 名参加
4 月 23 日	身体組成分析装置：MLT-550N	21 名参加
6 月 16 日	ベッドサイドモニタ：PVM-2701	10 名参加
10 月 1 日	特定積層型透析器：H12 シリーズ	19 名参加

- 医療安全の確保を目的とした医療安全管理委員会、医療安全対策委員会及び職員研修会を以下の通り開催した。

（医療安全管理委員会、医療安全対策委員会）

寿泉堂総合病院 24 回

寿泉堂香久山病院 12 回

寿泉堂クリニック 6 回

（医療安全管理研修会）

平成 27 年 4 月 3 日	平成 27 年度新採用者医療安全研修会	62 名参加
4 月 27 日	平成 26 年度医療安全研修会（中途採用者）	16 名参加
6 月 2 日	身体拘束・転倒転落合同研修会（～4 日）	187 名参加 寿泉堂香久山病院
6 月 18 日	人工呼吸器研修会（7 月 7 日、14 日、28 日、8 月 11 日、10 月 6 日、13 日、20 日、11 月 10 日、17 日）	97 名参加
6 月 23 日	新採用者薬剤に関する研修会	39 名参加
7 月 6 日	新採用者 KYT 研修会	64 名参加
8 月 20 日	医療安全管理研修 「抗精神病薬について」	48 名参加 寿泉堂香久山病院
8 月 31 日	平成 27 年度第 1 回医療安全管理研修会（10 月 1 日） 「麻酔の管理取扱い」	177 名参加
9 月 11 日	医薬品安全管理研修 「抗不安薬について」	46 名参加 寿泉堂香久山病院
10 月 7 日	医療ガスについて	28 名参加 寿泉堂香久山病院
11 月 12 日	平成 27 年度第 2 回医療安全管理研修会 「院内医療事故調査制度について」	65 名参加 講師：ひたちなか総合病院 院長 永井庸次先生
平成 28 年 1 月 25 日	平成 27 年度第 3 回医療安全管理研修会 「医療事故調査制度について～医療機関側弁護士の立場から」	218 名参加 講師：渡辺法律事務所 渡辺慎太郎弁護士
3 月 7 日	平成 27 年度第 4 回医療安全管理研修会 「事例からの振り返り」	208 名参加

（感染対策研修会）

平成 27 年 4 月 6 日	手洗い・標準予防策	68 名参加（14 日、16 日）
4 月 6 日	研修医対象感染対策	5 名参加
4 月 22 日	尿道カテーテルの管理	13 名参加
4 月 27 日	中途採用者対象研修会	15 名参加

5 月 25 日	クロストリジウム・ディフィシルについて (6 月 24 日)	224 名参加
6 月 17 日	個人防護具について (～19 日)	191 名参加 寿泉堂香久山病院
8 月 3 日	再就職支援研修 (12 月 18 日)	3 名参加
9 月 11 日	感染対策 対象者：ローズビルサービス・フジタビルメンテナンス	18 名参加
11 月 6 日	ノロウィルス・インフルエンザについて	39 名参加
11 月 13 日	結核について	201 名参加
12 月 10 日	新型インフルエンザ個人防護具着脱訓練	20 名参加
12 月 18 日	看護補助者研修会 (1 月 22 日、2 月 26 日)	82 名参加
12 月 22 日	ノロウィルス感染症予防対策について	42 名参加 寿泉堂香久山病院
平成 28 年 2 月 1 日	流行性ウィルス疾患について	183 名参加

○平成 27 年度の当法人並びに職員に対する外部団体からの表彰は、次の通りである。

平成 27 年 5 月 16 日	平成 27 年度福島県看護功労者表彰式 優良看護職員 岡部美智恵、柳内美紀子
5 月 16 日	平成 27 年度福島県看護功労者表彰式 優良看護補助者 藍原美樹子
5 月 16 日	平成 27 年度福島県看護功労者表彰式 知事感謝状 相良やよい
5 月 16 日	平成 27 年度福島県看護功労者表彰式 知事、会長連名表彰 壁寸とみ子
6 月 19 日	福島県病院給食研究会連合会 病院給食の向上発展に寄与 有松由香理
10 月 14 日	平成 27 年度健康ふくしま 21 推進県民大会 優良看護師 柳沼順子、牛来義勝 優良栄養士 荻野美佐江
10 月 20 日	平成 27 年度郡山地区産業安全衛生大会 衛生優良管理者 遠藤英一、吉田増太郎 衛生優良従業員 柳沼千信、橋本千賀子
11 月 11 日	平成 27 年度委員会研修会並びに年金委員・健康保険 委員・事業主表彰伝達式 年金機構東北ブロック本部長表彰 鈴木清一
11 月 27 日	平成 27 年度郡山地区公衆衛生大会 優良看護師 井手田理恵、吉田愛子

	青山尚子、添田加寿子
12月 3日	福島県ワークライフバランス男女共同参画大賞 公益財団法人 湯浅報恩会

11. 主 要 記 事

平成27年	4月 1日	新入職員入社式並びに辞令交付式
	4月 12日	透析患者交流お花見会 透析患者交流ゴルフコンペ (寿泉堂クリニック)
	4月 23日	入院患者慰労及びデイケア利用者のため、春祭りを 開催 (寿泉堂香久山病院)
	5月 19日	新病棟建設のため地鎮祭開催 (寿泉堂香久山病院)
	5月 27日	郡山消防署による立入実態調査 (寿泉堂クリニック)
	6月 12日	介護保険事業者集団指導 (寿泉堂香久山病院)
	6月 13日	平成28年3月に卒業する看護学生を対象に「病院説 明会」を開催
	7月 31日	平成28年3月に卒業する看護学生を対象に「病院説 明会」を開催
	8月 20日	協会けんぽ健診実施調査 (寿泉堂クリニック)
	8月 21日	平成27年度永年勤続者表彰式開催 40年勤続表彰 3名 30年勤続表彰 5名 20年勤続表彰 10名 10年勤続表彰 15名
	8月 26日	郡山市による平成27年度認可外保育所施設立入調査 (附属さくら保育園)
	9月 10日	オーダーリングシステム本稼働 (寿泉堂クリニック)
	9月 13日	東北厚生局による集団指導 (寿泉堂クリニック)
	9月 17日	入院患者慰労及びデイケア利用者のため、敬老会を 開催 (寿泉堂香久山病院)
	9月 24日	透析センター患者満足度調査 (寿泉堂クリニック)
	9月 29日	寿泉堂香久山病院 ISO9001、ISO14001 定期審査 (～30日)
	10月 1日	附属さくら保育園遠足 (亀ヶ城公園)
	10月 4日	第6回寿泉堂病院ゴルフ大会開催 (寿泉堂総合病院)
	10月 23日	郡山市保健所による平成27年度病院立入検査 (寿泉堂香久山病院)

	11 月 7 日	第 5 回寿泉堂病院解剖慰霊祭開催
	11 月 9 日	健診センター患者満足度調査 (寿泉堂クリニック)
	11 月 27 日	生活保護法による個別指導 (寿泉堂総合病院)
	11 月 30 日	郡山市保健所による平成 27 年度病院立入検査 (寿泉堂総合病院)
	12 月 10 日	イベント委員会が中心となり、入院患者を対象に吹奏 楽演奏会並びにキャンドルサービスを実施 (寿泉堂総合病院)
	12 月 10 日	入院患者慰労のため、クライアントレク実行委員会に おいてクリスマス会並びにキャンドルサービスを実施 (寿泉堂香久山病院)
	12 月 10 日	附属さくら保育園クリスマス会開催
平成 28 年	1 月 26 日	病院機能評価訪問審査 (～27 日) (寿泉堂香久山病院)
	1 月 28 日	東北厚生局による適時指導 (寿泉堂総合病院)
	2 月 1 日	マンモグラフィ検診施設画像評価更新認定 (寿泉堂クリニック)
	3 月 17 日	附属さくら保育園卒園式開催
	3 月 18 日	東北厚生局による診療報酬改定集団指導
	3 月 23 日	平成 27 年度医師・歯科医師臨床研修修了式開催
	3 月 28 日	定年退職者特別表彰式開催